

令和6年度 第3学年 技術・家庭科(家庭分野) 年間指導・評価計画(年間 17.5 時間)

目標	<p>○生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生活と技能についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
----	--

評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	1	ガイダンス◇	・授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見直しをもつ。	③1年間の授業計画を見通して、計画を立てることができる。 ①自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。
	2	A 家族・家庭生活 ・自分の成長と家族・家庭生活◇	・自分の成長と、家族や地域の人びとのかかわりと、自分自身の理解を深める。	①自分の成長と家族や家庭生活との関わりについて理解している。
	1	・わたしの生活と家族・家庭◇☆ ・中学生にとっての家族 ・家庭を支える社会	・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する。 ・自分や家族の生活は、誰かの活動によって、互いに支え合っていることに気づく。	②家族と家庭の機能について、問題を見だし課題設定している。 ②立場に沿って考えることができる。 ③家庭でも、クラスでもそれぞれ自分の役割があり、互いに支え合って生活している。自分は、家族の一員である。クラスの一員であること気づくことができる。
6 ◆ 7 9 10	1	1、幼児の生活と家族 ・幼児のころと今の自分 ・人の一生の区分 ・幼児の生活と家族 ・幼児のころと今の自分	・自分の成長をふり返り、幼児期への関心をもつようにする。 ・人の一生の区分を理解する。 ・自分の成長をふり返り、幼児期への関心をもつようにする。 ・幼児の心身の発育について、発達の方向性や順序とともに、個人差があることを理解する。	①人の一生の区分を理解している。 ①幼児の身体の発育、運動機能の発達の特徴を理解している。 ①幼児の言語、認知、情緒、社会性の発達の特徴を理解している。
	1	・幼児の体の発達	・幼児の言語、認知、情緒、社会性などの発達について理解する。	③幼児の生活と家族について、課題解決に主体的に取り組もうとしている。
	1	・幼児の心の発達	・子どもが育つ環境としての、家族や周囲のおとなの役割について理解する。	①保育施設の役割について理解している。
	2	・発達にとっておとなの役割	・保育所、幼稚園、認定子ども園の役割について理解する。	①幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。
	2	・遊びが必要なわけ ・遊びを支える環境	・自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。 ・幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。	①幼児とのふれ合いとして、DVDを通して幼児とのかかわり方を学ぶことができる。 ②ロールプレイングを通して、幼児との関わり方について改善点を見だしている。 ②地域とのつながりを通して、今、地域でできることを考えようとしている。
	2	・幼児とのかかわり(DVDを視聴) ・ロールプレイング ・子どもの成長と地域☆	・幼児とのかかわりがどのような感じか DVDを通して、かかわり方を考える。 ・幼稚園に行つたつもりで、グループで幼稚園の先生になる人、幼稚園児になる人の役割を決め、自分で作ったおもちゃで、ロールプレイングをしてそれぞれの気持ちを考えてみる。 ・子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で中学生ができることを考える。	

11 ◆ 12 1 2 3	6.5	B 衣食住と生活 ・日常食の調理	・調理の手順と流れがわかり、計画を立てることができる。	②調理手順と流れ、実習計画に課題をもって取り組もうとしている。
		C 消費生活 ・お金の使い方	・計画的に金銭管理をする必要があることがわかる。	②高校生になってからの食生活について考え、金銭管理を考えようとしている。
		B 衣食住と生活	・班で協力して、時間内にそれぞれの調理をつくらることができる。	③それぞれの実習について、調理について工夫し実践しようとしている。 ①調理実習の材料と作り方を理解している。
		A 家族・家庭生活 ・持続可能な家庭生活 ・人間らしい生活を求めて◇☆	・自分のワーク・ライフ・バランスについて考える。	③自分のワークバランスについて、工夫し考えようとしている。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、思考したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評 価 の 方 法	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート ・小テスト	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート	・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート

学習のアドバイス

(1)授業態度	タブレットPCを活用した授業が多くなります。話を聞くときは手を止めるなど、緩急をしっかりとつけましょう。
(2)提出物	提出物は期限を守る習慣をつけましょう。また、提出物の書き方に気をつけると、よいまとめになります。
(3)題材ごとのふりかえり	定期テストの前にはワークシートやレポートの振り返りをしておきましょう。記述の練習も必要です。